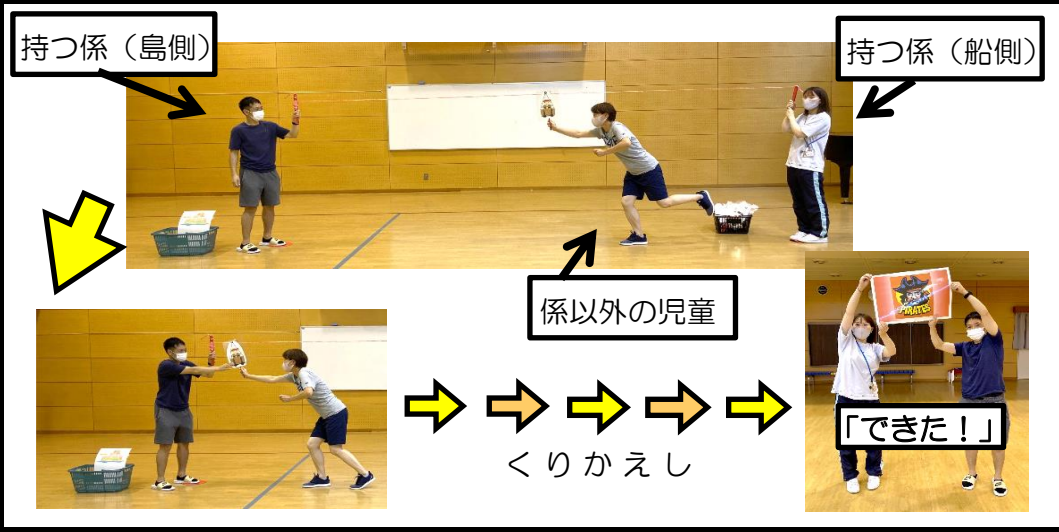


令和3年度教材紹介カード	教科等	生活単元学習 (集団遊び)	
教材名	ロープコースター	部 門	知的障害教育部門
ねらい	<p>(全体) 自分の役割を理解し、仲間と協力してゲームに取り組む。 (ロープを持つ係) ペアの友達と声を掛け合い、タイミングを合わせて活動する。</p>		
写 真			
指導内容 ・ 指導方法	<p>① 2チームに分かれ、チームごとにロープを持つ係を2人決める。 ② スタートの合図で、11体の海賊を船から島に移す。 (船側を持つ係は、海賊を一体ずつロープに通す。) (係以外の児童は順番に、ロープを伝って海賊を反対側に移す。) (島側を持つ係は、受け取った海賊をロープから取って島に上陸させる。) ③ 島側を持つ係が「いいよ!」と合図をしたら、船側を持つ係が新たな海賊一体をロープに通す。繰り返し ④ 全ての海賊を島に移すことができたなら、ロープを持つ係の2人が一緒に旗を揚げて「できた!」と叫ぶ。 ⑤ 早かった方のチームが勝ち。</p>		
特徴 ・ 留意点	<p>単元のテーマを「海賊」とし、「たからさがし」、「とびのれ浮島」、「ロープコースター」の三部構成で活動を設定した。「冒険から帰ってくる途中に船が座礁してしまい、島に上陸することができない。どうしよう。あ!この長いロープを使おう!」という寸劇から入り、児童がイメージをもって意欲的に活動できるようにした。ロープが道しるべになるため、途中で迷うことなく、多くの児童が反対側まで海賊を運ぶことができた。</p>		
材料・製作上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が持ちやすいように、海賊に持ち手をつけた。 ・ 海賊は折曲がらないように、150μのラミネートフィルムを使用して作成した。 		